

2017年01月25日(金)

北摂 天王山

単独行

コース距離 : 10.3km

所要時間 : 3時間16分(休憩含む)

コースタイム: 自宅(10:52)→(11:25)椎尾神社→(11:35)分岐→(12:15)天王山→
→(12:37)奥の山展望広場→(12:48)分岐→(12:58)十方山→(14:08)自宅

* 山行軌跡と行程グラフ



山行記:

今日は軽くと思い天王山に、以前に下山に漬かっていた道を探しながら登ることにした。

西谷踏切からサントリー蒸留所の中を通り椎尾神社から右側に登れそうなところを探すが見当たらず神社奥の登山Fより登りだす10分程進むと橋を使って徒渉するが橋を渡らず右に登山道が付いている道標もありいつも見落としていた。

何時も地図を視ながら右側に登りやすい尾根を探しながら歩き先を急ぎ見落としていたので、道は階段状になっていて島本のボーイスカウトが整備されているのであろう地形図には道は表示されていないが名神のトンネル上を歩いて行く左の尾根の送電線が近づいて来ると左に折れて送電線の尾根に登山道は付けられている。

送電線下は刈り込まれていて生駒山系が見える、間違いなく以前使っていた下山道である、送電線を潜り送電線から離れて尾根を歩いて行く歩き250m地点を過ぎてから右に方向を変えて天王山に向いて進んで行く険しい崖の様な所を50mで30mの高さを登って行くと山頂広場に出て山頂に達する。

山頂には一人先客が居られ下山するとき一人登って来られた、十方山を目指して行くが途中の奥の山展望広場(以前は見晴展望所と)に立ち寄る南から東側が見渡せ北側は黒い雲に覆われている、戻りしなに雪もちらついて来るがたいしたことはなくすぐに止み十方山に到着する初めて来た時は世界の方位板があったが今はなく周りは灌木で展望は出来ない。

十方山を下山すると後ろから人声が聞こえてくる、下山して行くと前にも声がして二人の婦人方が歩いておられ追い抜いて行く、下山道には落ち葉が溜まって滑りやすく歩きにくかったが転ばず13時15分下山口に降り立ち14時8分自宅に戻り着く。



西谷踏切



椎尾神社



何時もはこの橋を渡る



右に登って行く



よく整備されている階段



左奥が生駒山



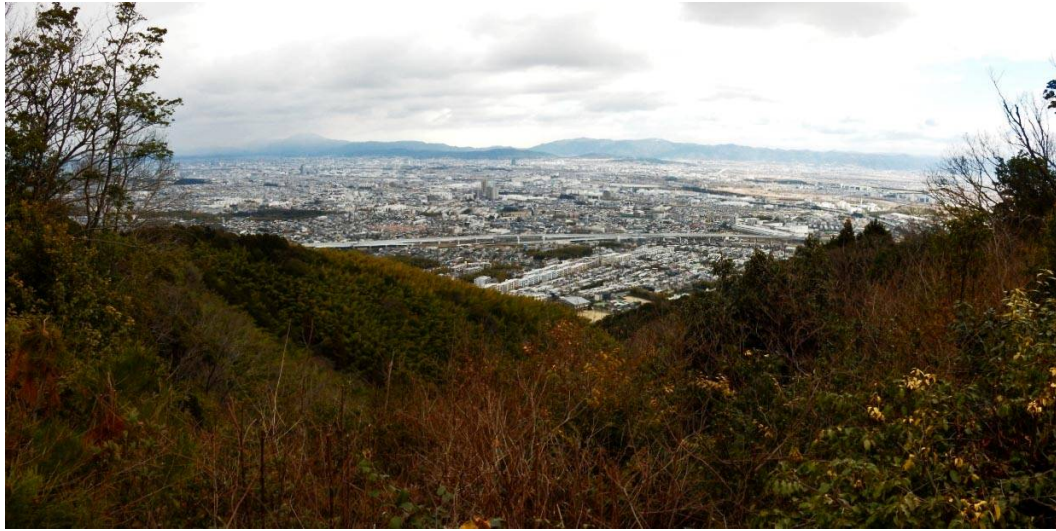
道標が付けられている(下山に使っていたときは道標はなかった)



この奥の広場に出てる



天王山山頂



奥の山展望広場より長岡京市から京都市街



小倉神社への降り口



十方山三角点(点名は天王)



下山口より樟葉方面



下山口より島本町から大阪平野